

研究テーマ「児童生徒理解を深めるために ～教職員の児童生徒理解を支援する～」

調査研究の経過

生徒指導・特別支援教育部では、受講者のアンケートから、要望の多かったテーマについて、校内や個人で研修できる動画を制作し、HPで公開しています。本年度は、① 研修用動画の活用状況の検証、② 研修用動画・資料の制作 を主とした先生方の児童生徒理解を支援するための調査研究を進めました。

調査研究の内容

① 「気になる生徒は『困っている生徒』」への捉え直しに気づけた！



研修用動画「ここが知りたい！クラスの中の気になる生徒の指導・支援 ～高等学校編～」の公開と検証

実際にこの研修用動画を活用し校内研修を実施した学校で、研修を振り返る声をお聞きしました。

A先生：「怠けているのではない。何かに困っていてそのように見えているのかもしれない。このように、見方・考え方を変えるとまだまだできることがあるとわかりました。」
 B先生：「言葉で伝えるだけでなく、視覚的に示したり、確認する方法を提示したり、確実に伝わるのが大切である。とくに学びやすい環境はやはり大切である。」

このように、「本当は困っているのかも知れない」と捉え直すことの大切さや困りを理解し学びづらさを支える支援の必要性に「気づけた」「改めて気づけた」といった声をお聞きすることができました。先生方も生徒をどう捉え、支援していけばよいのかを考えるきっかけとなり、動画の活用の有効性を確認することができました。

② 「ふりかえりシート」を使って、これまでの取組をふりかえってみませんか？



「すべての生徒が学びやすい環境づくり」に向けて～ふりかえりシート～ とその活用動画の制作

「すべての生徒が学びやすい環境づくり」に向けて
ふりかえりシート



「気になる生徒の姿は『困っている生徒』かも」「やる気がない」と思われる生徒の姿は、「困っている」生徒の姿かも…と捉え直してみましよう。困りの背景にある学びづらさが分かれば必要な支援が見えてきます。ちょっとした配慮で学びづらさを支える支援につながるような観点を「ふりかえりシート」（左）にまとめました。先生方の気になる生徒の支援の参考にしてください。

観点	ふりかえりの項目	チェック
授業前	学 集中して取り組める環境づくりを心がけている（整理整頓、気になる音や掲示物の除去 等）	
	習 必要な情報が分かりやすく提示されている（日課表・進路情報・テストや提出物の連絡 等）	
	環 視力、集中力、人間関係等 実態に応じた配慮をして座席や班を設定している	
	境 授業中に安心して間違えたり、分からないことを質問したりできるよう意識している	
	安 つまづきのある生徒の様子や有効な支援を教師間で情報共有している	
	心 いつもと様子が違う生徒や普段目立たない生徒にも意識して声をかけている	
環	境 相談を受けていなくても、生徒が抱く困りや願いを目を向けている	
	境 苦手さへの対応を考えるだけでなく、本人の得意なことに着目して支援を検討している	

研修用動画の活用方法

最新の調査では、すべての県立高校に発達障がいのある生徒が在籍していることや、中学校特別支援学級卒業者の約8割が高校に進学していることが示されており、高校における特別支援教育に係る支援力の向上や支援体制の充実が急務であるといえます。

「ここが知りたい！クラスの中で気になる生徒の指導・支援 ～高等学校編～」は、「いつでも、どこでも、わずかな時間で」「個人でも、グループでも」研修できるように、1本あたり5分前後にまとめた短編動画全4編を公開しています（第4編は近日公開予定）。どの高校にも共通する「授業」に焦点を当てて生徒理解や支援の方法などについてミニワークを交えながら理解を深めていきます。気になる生徒の理解や支援にお役立てください。

研修用動画や資料はこちら

☞長野県総合教育センターホームページ

教育情報→特別支援教育 校内研修・研修用資料 [1]クラスの中の気になる子の指導・支援